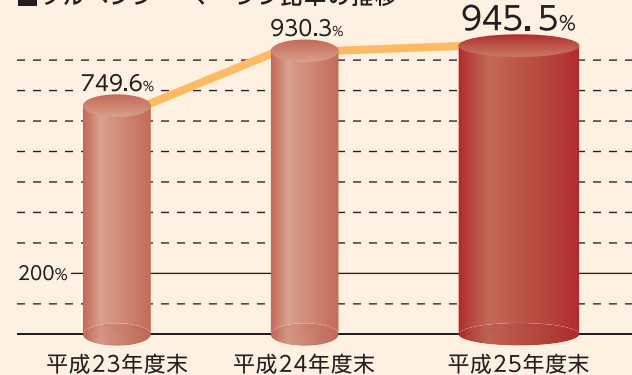


引き続き、高い健全性を維持しています。

3 ソルベンシー・マージン比率 **945.5%**

通常の予測を超えたリスクにも対応できる支払余力を確保しています。

■ソルベンシー・マージン比率の推移



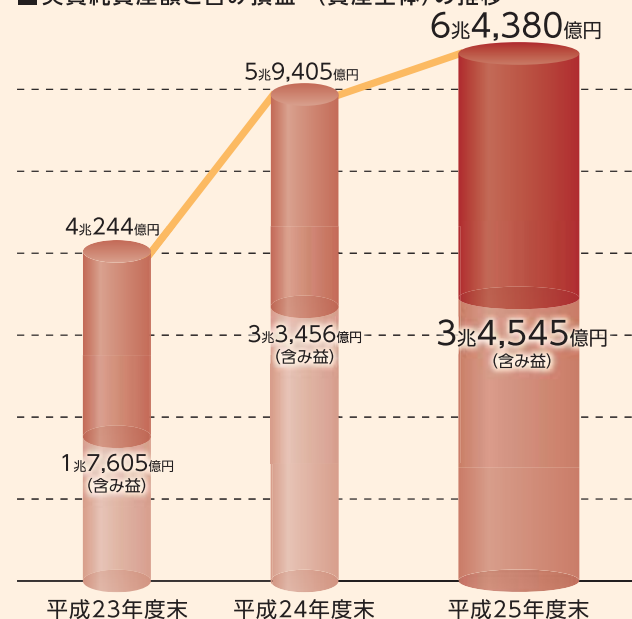
ソルベンシー・マージン比率とは、株価の暴落など通常の予測を超えて発生するリスクに対応できる「支払余力」を有しているかを判断するための行政監督上の指標の一つです。この数値が200%を下回った場合は、監督当局による業務改善命令等の対象となります。平成25年度末のソルベンシー・マージン比率は945.5% (前年度末差15.2ポイント増)となりました。

4 実質純資産額

6兆4,380億円

財務の健全性を維持していくための純資産額を堅持しています。

■実質純資産額と含み損益※(資産全体)の推移



実質純資産額とは、有価証券や不動産等を時価評価した資産から、ご契約にかかわる各種負債等を差し引いたものであり、保険会社の健全性の状況を示す行政監督上の指標の一つです。

平成25年度末の実質純資産額は6兆4,380億円(前年度末差4,975億円増)で、一般勘定資産に対する比率は19.2%となりました。

また、一般勘定資産全体の含み益は3兆4,545億円(前年度末差1,089億円増)となりました。

国内株式含み損益ゼロ水準

平成25年度末における当社が保有する株式の含み損益がゼロとなる水準は、日経平均株価で7,800円程度となりました。

*仮に当社ポートフォリオが日経平均株価にフル連動するとした場合

※含み損益とは、保有資産の時価と帳簿価額との差額です。

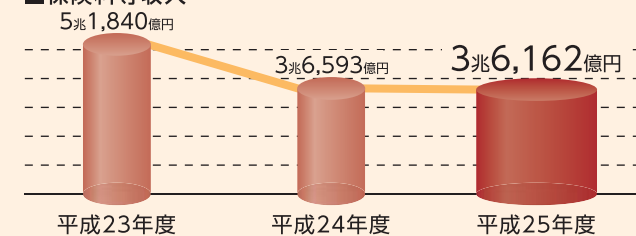
お客さまのご支持のもと、これからも安定成長に努めます。

5 保険料等収入

3兆6,162億円

お客さまの大切な保険料を、しっかりとお預かりしています。

■保険料等収入

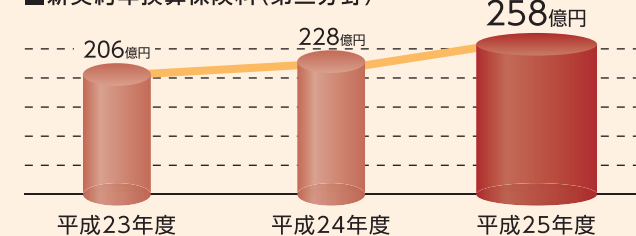


保険料等収入とは、ご契約者から払い込まれた保険料による収益です。

平成25年度の保険料等収入は、リスク管理の観点から銀行窓販商品の販売量を計画的に抑制したことや、貯蓄性商品について予定利率引き下げ等の影響があったものの、医療・介護等を含む保障性商品販売に注力したことにより、ほぼ前年並みの3兆6,162億円(前年度比1.2%減)となりました。

なお、当社が注力している医療・介護等の第三分野業績においては、新契約年換算保険料※が258億円(前年度比13.2%増)と2年連続の伸展となりました。

■新契約年換算保険料(第三分野)



※新契約年換算保険料とは、各契約について、お払いのみいただく保険料を1年あたりに換算した業績指標です。

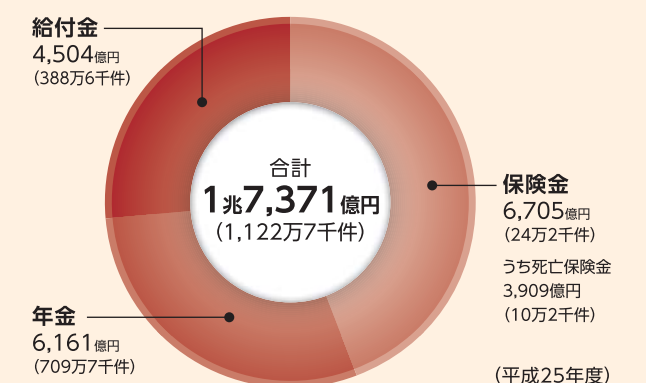
お役に立った 保険金・年金・給付金

1兆7,371億円

ご請求もれなどがなく、**確実なチェック**をしています。

平成25年度にお支払いした保険金・年金・給付金の合計額は1兆7,371億円でした(1日あたりのお支払いは約48億円)。これからも確実・迅速なお支払いに努め、お客さまのお役に立てるように確かな安心をお届けします。

*給付金には、入院給付金・手術給付金のほか、ハッピー-L.A.ボーナスやお祝金なども含んでいます。



当社では、お支払い業務における重層的なチェック体制やお客さまへの充実したご説明の実施等、お支払いもれやご請求案内もれのない支払管理態勢を構築しています。また、「安心サービス活動」を通じて、保険金・給付金などのご請求がないかを確認する等、確かなお支払いに取り組んでいます。詳細については当社ホームページをご覧ください。

明治安田生命保険相互会社ホームページ ▶▶▶ <http://www.meijiyasuda.co.jp/>